

PMAJ JOURNAL

2014 No. 51

特集

特集Ⅰ

「PMシンポジウム2014」
創造が明日を拓く、進化するPM

特集Ⅱ

PMAJ表彰制度創設
第1回受賞式開催される



巻頭言	編集部	3
特集	「PM シンポジウム 2014」 創造が明日を拓く ～進化する PM～	
挨拶	「開会挨拶」 PMAJ	光藤 昭男 4
	「来賓挨拶」 経済産業省	川村 尚永 7
	「来賓挨拶」 ENAA	高橋 誠 8
基調講演 I	「ウェブ社会からファブ社会へ」	田中 浩也 9
基調講演 II	「農業イノベーションで地域エンジニアリング」	加藤 百合子 15
シンポジウム概要	「PM シンポジウム 2014」 実行プロジェクト ～企画から振り返りまで～	PM シンポジウム実行委員会 21
ITトラック		
IT-1:	「変革型リーダーシップによるアジャイル変革 成功に導くアジャイル導入の進め方」	竹腰 重徳 28
IT-2:	「ユーザ企業と直結したパートナーシップ型開発 納品のない受託開発の実践事例と新しい働きかた」	倉貫 義人 31
IT-3:	「アナタの組織の PMO に価値はあるのか PMO 経験の長い “かずみ先生” からのアドバイス」	関 和美 33
IT-4:	「3年で導入企業 45,000 社。ChatWork 社のプロジェクト管理方法を全部公開」	山本 敏行、堀江 裕隆 36
P2Mトラック		
PA-1:	「The evolution of projects and project management」	Reinhard Wagner 38
PA-2:	「Individual and organisational competences for managing projects」	Reinhard Wagner 40
PA-3:	「展望：P2M 新時代 PM 知識のグローバル化と P2M の改訂」	清水 基夫 42
PA-4:	「変化を恐れず、変化を楽しむ人生 1/6 の楽しみ方 仕事の悩みは、プロジェクト化で解決する」	中村 元哉、星野 隆之、欄所 敏勝、内田 淳二、藤澤 正則 45
エンジ・建設・公共トラック		
EG-1:	「クラウドファンディング活用の復興支援 壊滅した三陸牡蠣を救うソーシャルビジネス」	齋藤 浩昭 48
EG-2:	「未来都市」のグローバルビジネス PM 日本企業の海外展開へのビジネスモデルの提言」	太田 銅治 50
EG-3:	「グローバルパートナーリングの鍵 ブラジルで生きる日本流プロジェクトマネジメント」	鴨島 元佳 53
EG-4:	「トルコ 150 年の夢 アジアとヨーロッパを結ぶ海峡横断鉄道の建設」	近江 秀味 55
製造・医療トラック		
MS-1:	「国際プロジェクトにおける人材育成 宇宙飛行士と運用管制官の育成」	長谷川 義幸、伊藤 剛、西川 岳克 58
MS-2:	「ICT で救急医療現場は変えられるか？ 全国初！救急車で iPad を使った佐賀県の挑戦」	円城寺 雄介 62
MS-3:	「グローバル・プロジェクトにおけるマネジメント・プロセスの一例 アセアンにおけるシステム導入事例を通じて」	竹井 真素夫 64
MS-4:	「世界標準と個の創発 個々の力を最大化するために」	齋藤 ウィリアム 浩幸 67
金融・流通・サービストラック		
FI-1:	「ファッション産業における RFID の導入について チャールズ & キース等の事例」	加茂 直紀 69
FI-2:	「ビジネスドリブン PMO の導入 新たな PMO の役割と PMO スターターキット」	畑 秀明 71
FI-3:	「金融系基幹業務へのアジャイル適用事例 ハイブリッドアジャイルによる保険申込システムの構築」	押井 英喜 73
FI-4:	「ビジネス・イノベーションを実現する組織と阻害する組織 成功と失敗の実例紹介」	川勝 良昭 76
PM 人材育成トラック		
PS-1:	「日本的業界構造に潜む調達管理の課題～公共システム開発プロジェクト例を元に～」	宮沢 修二 80
PS-2:	「人工知能の研究とシステム構築 大学におけるシステムエンジニア育成の取組み」	大谷 紀子 82
PS-3:	「PM 困ったときの次の一手 知見伝承！ 若手 PM 成長を目的とした活動事例」	島田 明門 85
PS-4:	「Win - Win 交渉の神話 誰も語らない交渉のアリザム」	長尾 清一 87
イノベーショントラック		
VC-1:	「ミッション経営」勝てる自律組織を作るために	岩田 松雄 90
VC-2:	「先端研究の新形態 「バーチャルラボ」 日本の閉塞状態を切り開く先端研究へのヒント」	千葉 正毅 92
VC-3:	「食・農クラウド Akisai 農業新世界に向けて」	須藤 毅 94
VC-4:	「研究開発における PM の実践 PM を活用した on-job トレーニング」	山崎 馨、中野 裕士 97
特集	PMAJ 表彰制度創設 / 第 1 回表彰式開催される	光藤 昭男 99
広告		105
編集後記	編集部	106

巻頭言

編集部

ジャーナル 51 号をお届けいたします。

本号の特集は「PM シンポジウム 2014」創造が明日を拓く ～進化する PM～」と「PMAJ 表彰制度創設 / 第 1 回表彰式開催される」となっています。

特集I「PM シンポジウム 2014」 創造が明日を拓く ～進化する PM～

第 17 回「PM シンポジウム 2014」は、9 月 4 日、5 日に、総参加者数約 2,000 名の方々のお集まりを頂き、盛大に成功裡に終了致しました。ご参加頂いた方々、ご講演頂いた方々、ボランティアでご協力を頂いた方々、種々の面からご支援を頂いた関係各位に、心よりお礼申し上げます。この PM シンポジウム 2014 特集号の発刊に際しては、編集部のみの方員では不足し、多くのボランティアの方々の応援を頂きました。また、原稿の確認にはお忙しい所でご講演の方々にお時間を割いて頂きました。重ねて心よりお礼申し上げます次第です。

お仕事のご都合で参加出来なかった方々や、振り返りのため、シンポジウムの概要をお伝えすべく特集を掲載致しました。皆様方のシンポジウムに対するご感想は如何でしょうか？ご意見等ございましたらお寄せ頂きたいお願い申し上げます。

特集II「PMAJ 表彰制度創設 / 第 1 回表彰式開催される

本号のもう一つの特集が、「PMAJ 表彰制度創設」と第 1 回表彰式開催に関してのご報告です。

当協会は、創立 10 周年目に当たる本年（2014 年）、プログラムマネジメントおよびプロジェクトマネジメントの分野において優れた講演、活動、貢献をされた個人及びグループ（法人含む）「PMAJ 表彰制度」を創設しました。表彰式は、2014 年度の PM シンポジウム 2014 に合わせて実施されました。本制度の概要と第 1 回受賞式で表彰された方々をご紹介します。

(「PMI」「PMP」「PMBOK」は、Project Management Institute, Inc.(PMI) の登録商標です。「BABOK」は、International Institute of Business Analysis(IIBA) の登録商標です。「MSP」「PRINCE2」「ITIL」は、AXELOS Limited の登録商標です。「IPMA」「ICB」「OCB」「IPMA デルタ」は、International Project Management Association(IPMA) の登録商標です。「P2M」「PMAJ」は、日本プロジェクトマネジメント協会 (PMAJ) の登録商標です。)